

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記のを要請で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

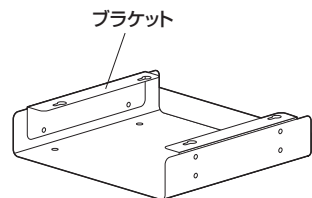
★用意していただくもの……  
電動ドリル、プラスドライバー、鉛筆など、  
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

**完成図**

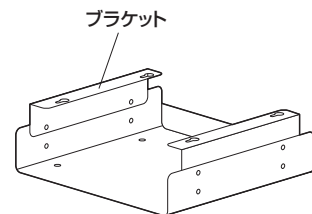
※本製品は組立て方法によって下図のように2通りの使い方が  
できます。用途に合わせて組立ててください。

※ブラケットの取付け位置をどちらにするかによって、組立て手順①が異なります。

ブラケットを下に取付ける場合

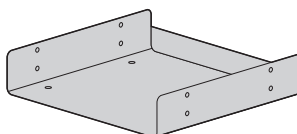


ブラケットを上を取付ける場合

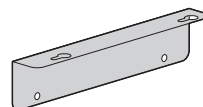


**組立て部品**

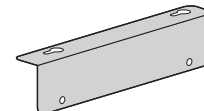
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-UDS007など)と  
下記の部品番号(①~⑧)と部品名(ボルトなど)をお知らせください。



①トレイ×1個



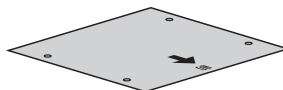
②ブラケット(左)×1個



③ブラケット(右)×1個



④ナット×4個

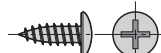


⑤テンプレート×1枚

使用ボルト



⑥ボルト×4本(M4×8)



⑦タッピングボルト×4本(4×13)



⑧スパナ×1本

**使用上のご注意**

対応デスク:  
MDF・パーティクルボード・天然木などの木製天板デスク

<注意>

※木製天板には内部が空洞のもの(フラッシュ構造・ハニカム)と空洞でないものがあります。  
内部が空洞のものをご利用いただけません。  
ご不明な場合はデスクのメーカーにお問い合わせください。  
※厚さ16mm未満の天板にはご利用いただけません。

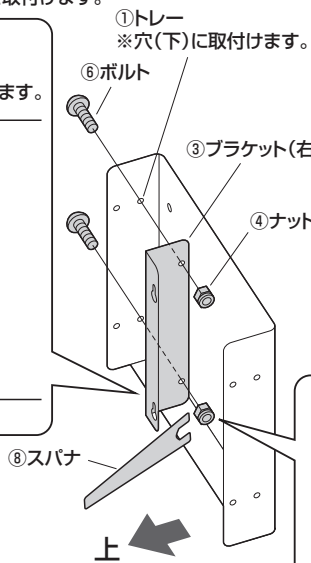
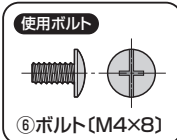
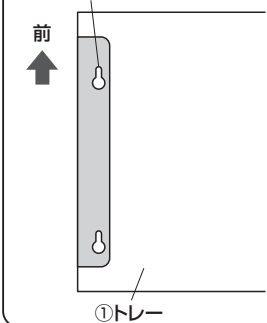
- ・木製でも強度がないものや柔らかい材質のものは、ボルトがとれやすいので利用できません。
- ・ガラスなど、ボルト止めできないものはご利用いただけません。
- ・ボルトがゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ・ぶら下がったり、トレイを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ・取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- ・本製品を天板裏面に取付け後、撤去しますと天板裏面にネジ穴が残ります。ご了承ください。

**1 トレーにブラケットを取付けます。**

ブラケットを下に取付ける場合

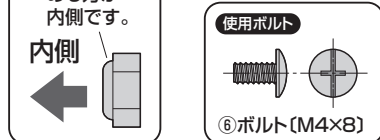
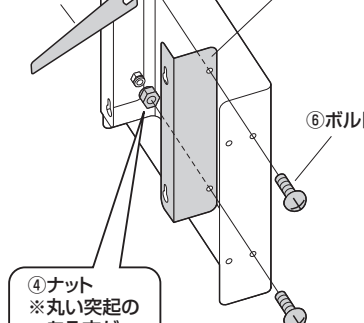
①トレイにブラケット(右)を取付けます。

上から見た図  
③ブラケット(右)  
※この穴の向きで取付けます。



②ブラケット(左)を取付けます。

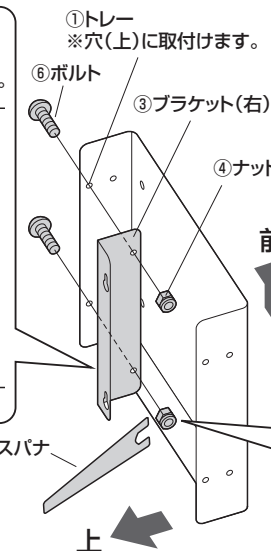
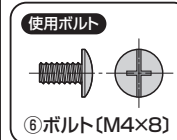
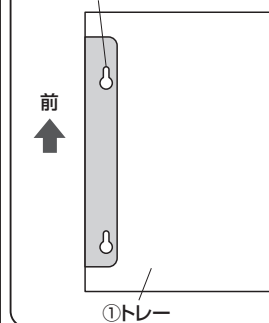
上から見た図  
③ブラケット(右)  
※この穴の向きで取付けます。



ブラケットを上を取付ける場合

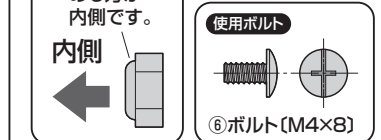
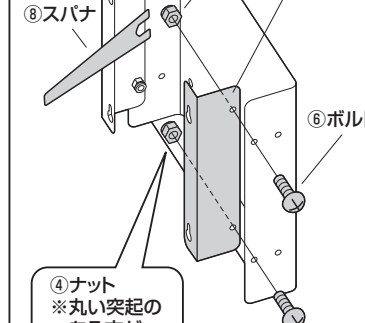
①トレイにブラケット(右)を取付けます。

上から見た図  
③ブラケット(右)  
※この穴の向きで取付けます。



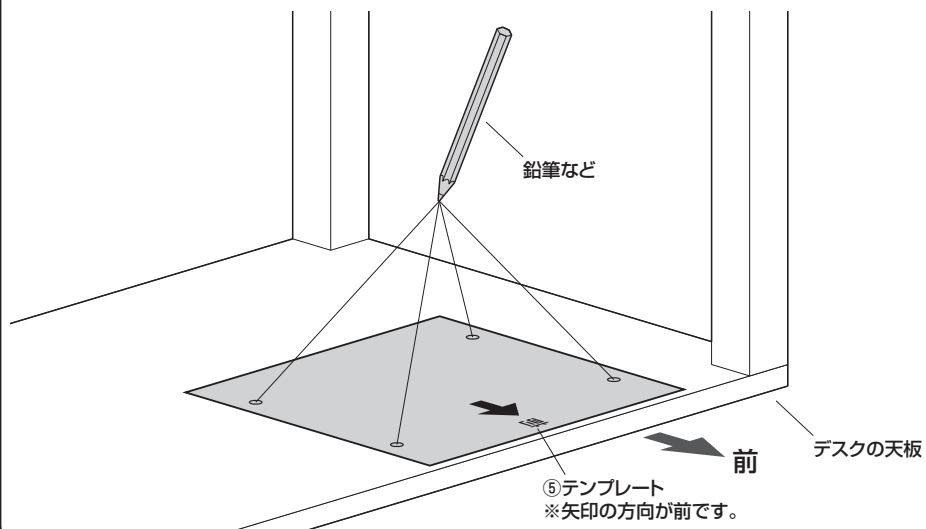
②ブラケット(左)を取付けます。

上から見た図  
③ブラケット(右)  
※この穴の向きで取付けます。



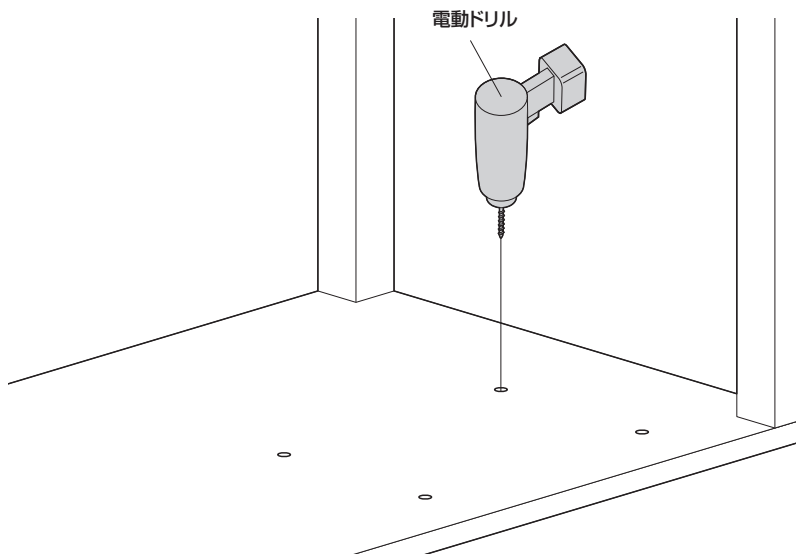
## 2 デスクをひっくり返した状態で、天板の裏面に印を付けます。

取付ける位置にテンプレートを置き、穴位置に印を付けます。  
※厚さ16mm未満の天板にはご利用いただけません。



## 3 天板に下穴を開けます。

テンプレートを避け、印を付けた場所に直径3.5~3.8mmで深さ10mmの下穴を開けます。

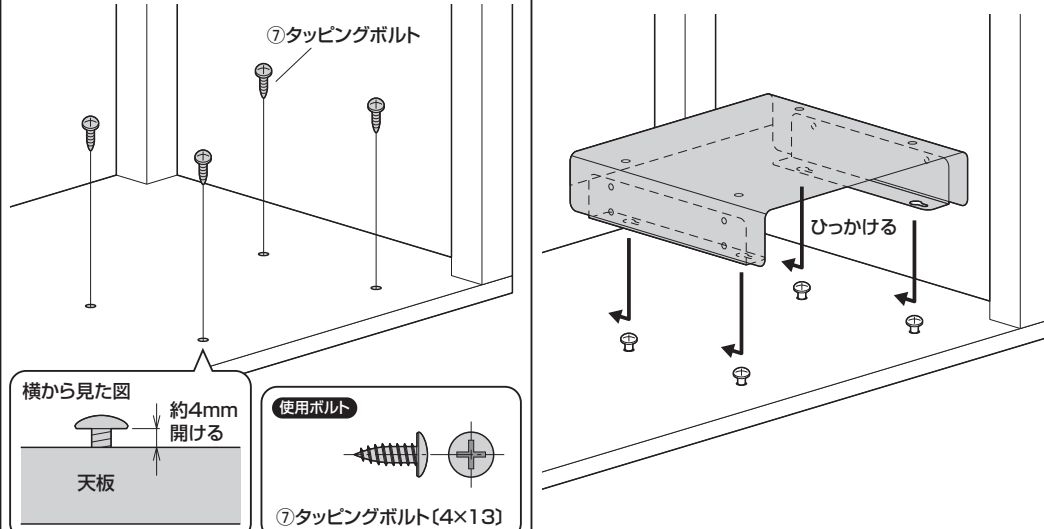


## 4 天板にブラケットを取付けます。

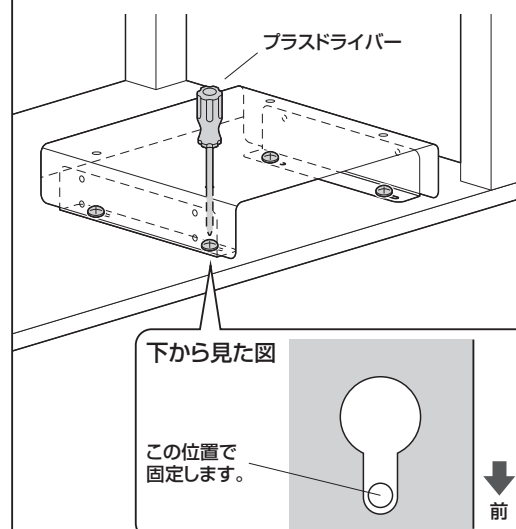
下記の図はブラケットを下に取付ける場合のイラストになっています。

①タッピングボルトを約4mm隙間を開けて付けておきます。

②ブラケットの穴をひっかけます。



③タッピングボルトを締め付けて固定します。



## 5 デスクを起こして完成です。

下記の図はブラケットを下に取付ける場合のイラストになっています。

